

夏休み…

夏休みに入って、静まり返った運動場。

午前中、やかましく鳴いていたクマゼミは…。



クマゼミが長い口を
ケヤキの幹に突き立
てて、樹液を吸って
います。

暑くとも、食べることは生きていく上で必要です。

花壇では。



名前はわからないの
ですが、触覚の長い
ハチの仲間と思われ
る昆虫が、オミナエ
シのみつを吸ってい
ます。

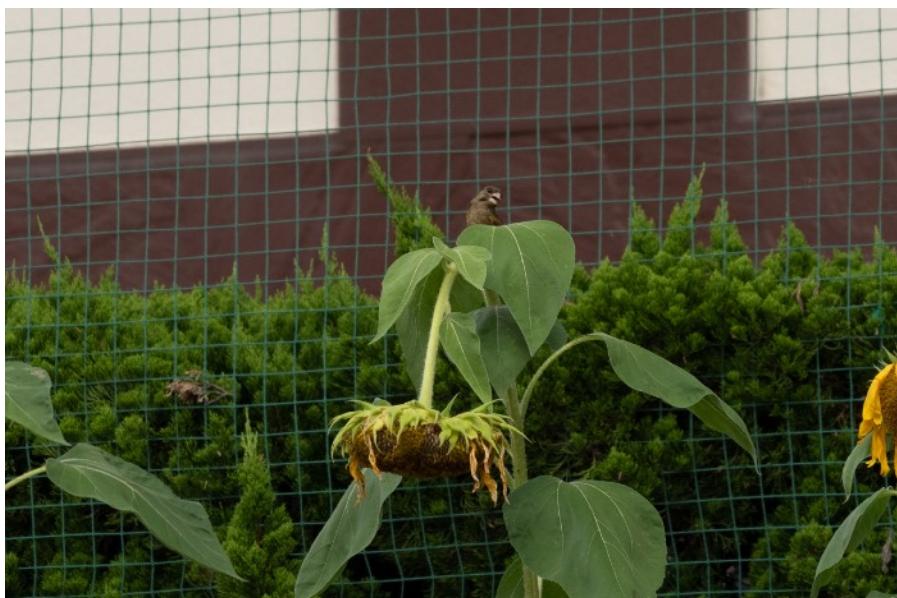
花壇では可憐なコスモスの花が咲き始めています。

と、ブーンと大きな羽音が！



シロテンハナムグリ
と思われる昆虫がコ
スモスの花に。

コスモスの花は纖細なので、シロテンハナムグリが花に止まった途端、風も手伝って花が大揺れに揺れ。でも、しっかりしがみついて花粉やみつにありつけたようです。



ヒマワリの花の上に
小鳥がいます。

カワラヒワが現れました。彼らのねらいはヒマワリの種（実）なのです。くちばしが届く範囲のヒマワリの種を上手に抜き取って食べます。



ヒマワリの花はしおれました。
でも、その後には種（実）がぎっしり！

これが、カワラヒワたちのエサになります。



アリたちがダンゴムシの死骸を巣に運んでいます。

様々な生き物の死骸を餌として巣に運んできます。
イソップ物語ではありませんが、アリたちの活動は活発です。



クスノキの枝先に、
鳥の巣のようなもの
が！

よく見ると、鳥の巣ではありません。

webページで調べて見ると、アオフトメイガという蛾の幼虫が、葉をつづって巣を作り、
クスノキやタブノキの葉を食べるといったことが載っていました。
蛾の幼虫といえども食べなければ生きていけません。



花壇のそばの小さな
池でイトトンボが

先日の生き物調査でアオモンイトトンボがみつかりました。アジアイトトンボによく似て
いるので分類は難しいのですが、おそらくその時のアオモンイトトンボと思われます。
ということは、この池にいたイトトンボのヤゴはアオモンイトトンボだったかもしれません。

夏は様々な生命が育まれる季節です。